

平成 25 年 7 月 16 日～7 月 22 日までの全国の暑さ指数（WBGT）の  
観測状況及び熱中症による救急搬送者数と暑さ指数との関係について  
（お知らせ）（平成 25 年度第 5 報）

1. 目的

環境省では、暑さ指数(WBGT：湿球黒球温度)の予測値・実況値について、今年度は、5 月 13 日(月)から情報提供を開始したところです。今般、全国の熱中症患者数が急増していることから、暑さ指数の情報提供に加え、暑さ指数の推定精度の高い約 150 地点について、過去 1 週間程度の暑さ指数の観測状況、暑さ指数と熱中症患者搬送数との関係について、定期的に情報提供を行うことといたしました。本情報等を活用し、広く熱中症の予防にご協力いただきますようお願いいたします。

2. 先週（7 月 16 日～7 月 22 日）の全国の暑さ指数の観測状況について

**暑さ指数 31℃以上（危険）の時間数（168 時間中）**

1. 鹿児島（鹿児島県）	6 時間
2. 宇和島（愛媛県）	4 時間
3. 福岡（福岡県）	3 時間
清水足摺（高知県）	3 時間
5. 阿久根（鹿児島）	2 時間
油津（宮崎県）	2 時間

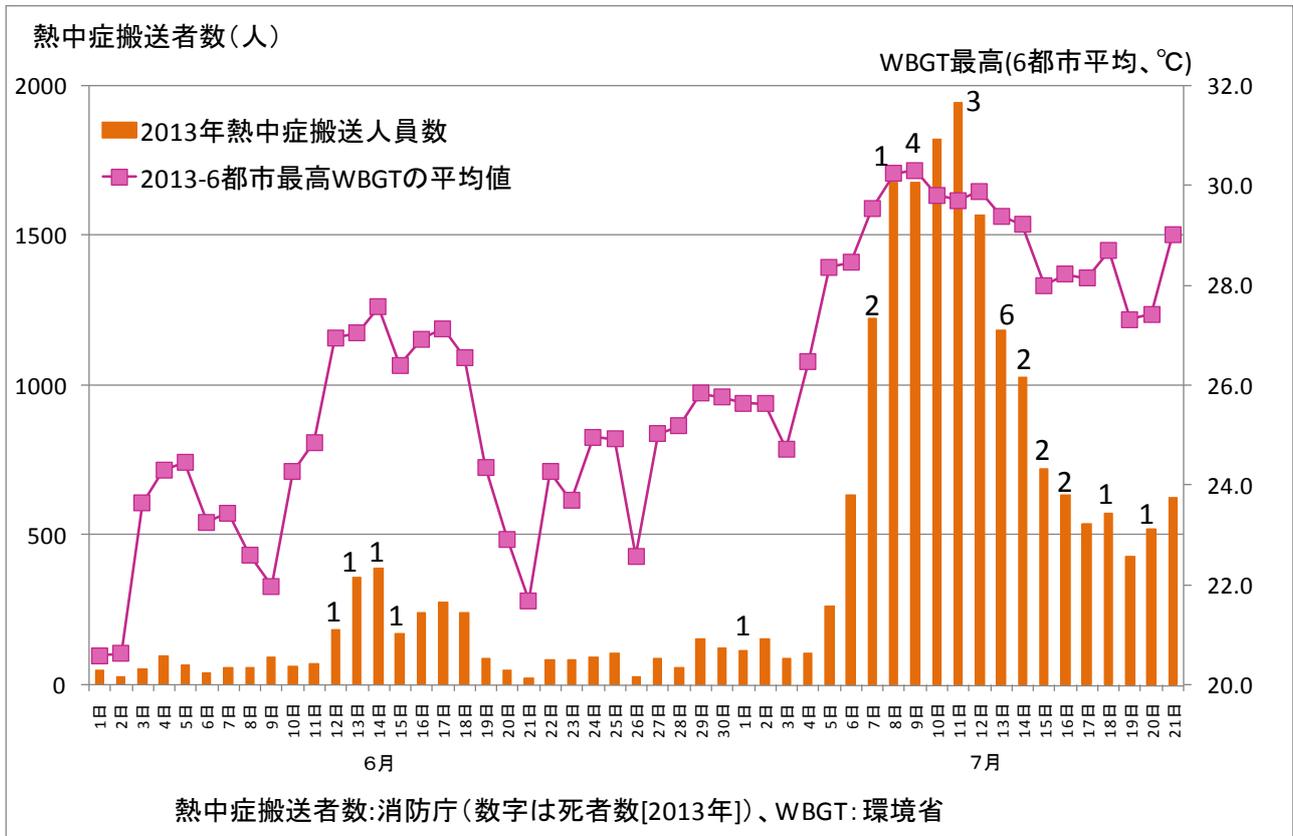
<参考>全国 6 都市の観測地点

新潟（新潟県）	0 時間
東京（東京都）	0 時間
名古屋（愛知県）	0 時間
大阪（大阪府）	0 時間
広島（広島県）	0 時間
福岡（福岡県）	3 時間

- (注 1) 暑さ指数は、これまでの調査結果による推定手法を用いて、気象庁の観測資料から推定した値です。  
(注 2) 暑さ指数 31℃以上の時間数は、今回の調査では、鹿児島の 6 時間が最多で、153 地点のうち 20 地点で暑さ指数 31℃以上の時間がありました。なお、暑さ指数 31℃以上とは、(公財)日本体育協会の指針において、運動は原則中止レベルです。

### 3. 6都市の暑さ指数と熱中症による救急搬送者数（全国）との関係

6都市：東京都、大阪市、名古屋市、新潟市、広島市、福岡市



- 6都市平均の最高 WBGT は、7月16日～22日までの期間、27～29°Cで熱中症危険度の「**嚴重注意**」を示す WBGT28°C前後で推移しました。熱中症による救急搬送者数は消防庁発表の速報によると、7月15日～21日までの期間、431～723名で(最多は15日の723名)、前週よりは減少しましたが、西日本を中心に熱中症による搬送者数の多い状態が続いています。
  - 7月16日～22日までの期間、日中の WBGT 最高値は、西日本と南西諸島では期間を通して熱中症危険度の「**嚴重注意**」を示す WBGT28°Cを上回り、東日本では26～28°Cで経過しました。WBGT28°Cを超えた地点は50～93地点(全153地点)に達し、熱中症に十分な注意が必要な状態が続いています。
  - 気象庁発表(7月24日11時時点)の週間天気予報では、最高気温・最低気温ともに、東北地方と北陸地方では平年並か平年より低く、その他の地方は平年並か平年より高い見込みです。
  - 西日本から東日本では、引き続き熱中症に対して十分に注意が必要な状態が続いています。また、北日本では曇雨天のあとの急な暑さに注意が必要です。こまめな水分補給で、体調管理に注意してください。
- (注) 6都市における暑さ指数は、環境省の観測と気象庁の観測資料から求めた観測値です。  
6都市：東京、新潟、名古屋、大阪、広島、福岡